

注 意 報

長崎県病害虫防除所長

平成19年度病害虫発生予察注意報第4号

普通期水稲 トビイロウンカ

1. 発生地域(対象地域) 県下全域

2. 発生程度 多

3. 注意報発令の根拠

- (1) 8月下旬(8月23～30日)の巡回調査(94筆)の結果、1株当たり虫数は0.39頭(平年0.09頭)と平年より多く(図1)、発生圃場率は48.9%(平年20.2%)と平年より高かった(図2)。1株当たり虫数、発生圃場率ともに坪枯れ被害の多かった平成17年並であった(図1、2)。また、一部圃場では1株当たり虫数が30頭を超える圃場も認められた。さらに、県北部の早植え水稲の一部圃場で坪枯れの発生を確認した。
- (2) 気象予報(福岡管区气象台、平成19年8月31日発表)によると九州北部の向こう1か月の気温は平年より高い見込みであり本虫の発生に好適である。

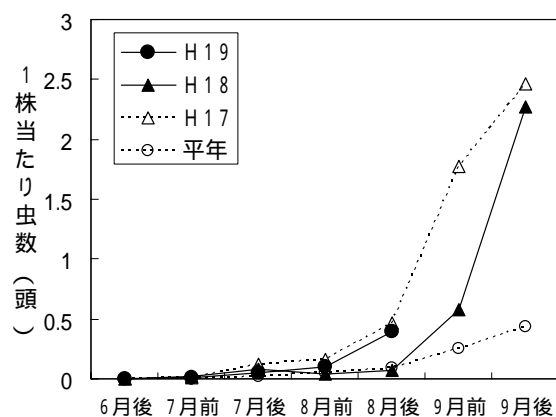


図1 1株当たり虫数の推移

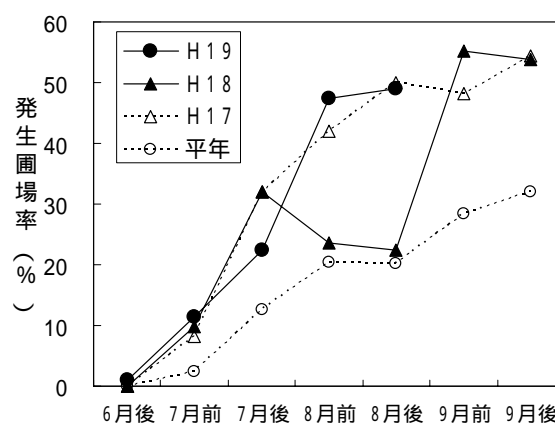


図2 発生圃場率の推移

4. 防除対策

- (1) 本虫の発生は圃場間や同一圃場内でも偏りが大きい。このため、圃場の見回りを徹底し、できるだけ圃場全体の発生状況を把握して、防除を行う。9月上旬頃に1株当たり成幼虫数が5頭以上であれば早急に防除する。
- (2) 防除実施後もその後の発生状況に十分注意し、防除効果の確認を行うとともに必要に応じて追加防除を行う。
- (3) 本虫は株元を好んで寄生するので、薬剤散布は株元に薬剤が十分に付着するよう丁寧に行う。
- (4) 薬剤散布にあたっては、農薬使用基準を遵守し、圃場周辺に薬剤の飛散がないよう十分注意する。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnn.ne.jp/nagasaki/>

「防除所ホームページ」を利用して、ながさき農林業総合情報システム（一部会員制、アドレス：<http://www.n-nourin.jp/>）やその他の情報を閲覧することができます。

この情報に関するお問い合わせは、電話またはEメールでお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027， Eメール：kngs0301@sp.jpnn.ne.jp